

今月のことば

龍谷大学非常勤講師

小池秀章

昔、あるCMで、
「シワ（皺）とシワを合わせて、しあわせ（皺合わせ）、南無（合掌）」

というものがありました。それをある小学生が「確かに合掌の姿は、シワとシワを合わせているけれど、よく見たら、関節、つまりフシ（節）を合わせているじゃないか」と言つて、「フシ（節）とフシを合わせて、ふしあわせ（節合わせ）、南無（合掌）」

と、茶化しました。

しかし、それを聞いていた、ある浄土真宗のお坊さんが、「シワとシワを合わせて、しあわせ。

しあわせも、ふしあわせも、両方あって、一個の人生。

南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏（合掌）

と、頂かれたのです。

ここでいう「しあわせ」とは、本当の「しあわせ」ではなく、自分の思い通りになる人生ということでしょう。そして、「ふしあわせ」とは、自分の思い通りにならない人生ということでしょう。その両方あって、一つの人生なのです。そして、思い通りになる人生も、思い通りにならない人生も、ともに、私の大切な人生だと受け止めしていく。それが南無阿弥陀仏の、み教えなのです。

合掌

思ひ通りになる
人生も
人生も
思ひ通りにならぬ
人生も
両方あって
一つの人生

（小池秀章）